

オンブードの仕事も、今年で4年目となりました。毎回、各部署が作成して下さった大部の男女共同参画計画の施策別事業報告を拝見し、今回はどの部署にヒアリングをしようか、どのような書面問い合わせをしようかと、3人のオンブードで考えてきました。今回の報告書をお読み下さり、多くの幅広い部署で、男女共同参画の推進を念頭に入れながら日常の業務をこなしておられることを感じて頂けたことと思います。将来的には、計画や施策などが無くとも、当たり前のように男女共同参画を実現した市政になることを、心より期待しています。
(土肥)

昨年に引き続きヒアリングや書面調査を行わせていただき、関係者の皆様にはお忙しい中でのご協力に大変感謝申し上げます。今回「第3期伊丹市男女共同参画計画」を策定する審議会委員の一員として計画の立案に関わり、その後市民オンブードとして調査をした為、今期計画の推進について強い思い入れを持って報告書を作成致しました。

今回特に調査をして感じたことは、様々な格差や不平等に直面して困難を抱える方々に対して、行政の各課が連携し、問題解決に向けて懸命に相談支援されているという点でした。コロナ禍の中で人と人との関係が希薄化し、問題を抱えながら孤独や孤立を感じる方も多くいた中、行政並びに関係者の方々がこれら課題に真摯に対応されていることを知り、人とのつながりを改めて認識すると共に伊丹市民として一層安心感が深まりました。

「性別にとらわれず1人ひとりを大切にするジェンダー平等のまち」を目指し、こうした積極的な相談支援制度が色々とあるということ、1人でも多くの方々に報告書を通じて知っていただき、相談支援を活用することで問題が解決できればと願っています。
(虎谷)

前回、新型コロナウイルス感染症拡大前の事業について、2020年度オンブード報告書の作成に携わりました。そして今回再び、感染拡大後に執筆の機会をいただき、行政がコロナ禍で顕著となった貧困、自殺、孤立などの問題に真摯に向きあい、継続して対応してくださっていることを実感しました。コロナ禍で人と人が会うことが難しくなった時期にも、行政の各課同士で連携して、市民に寄り添って対応してくださっていると感じました。新庁舎となった市役所に、職員と市民が面談できるスペースが多くなり、相談しやすい開かれた場所になったことにも、それは現れていると思います。

これからも、市民に寄り添った行政で在り続けていただくよう願っています。
(星野)

市民オンブード報告(概要版)

(令和4(2022)年度事業内容)

伊丹市長の委嘱により、市民の立場から本市の男女共同参画計画の進捗状況についてチェックする、伊丹市男女共同参画施策市民オンブードの令和4(2022)年度事業内容に対する報告書がまとまり、市長に提出されました。このリーフレットは、「報告書」の概要版です。



伊丹市マスコット
たみまる

【報告書の目次】

第3期伊丹市男女共同参画計画 進捗状況報告

数値目標及び達成状況

令和4(2022)年 進捗状況の概要

体系表

伊丹市特定事業主行動計画 実績値状況(女性活躍推進法)

第3期伊丹市男女共同参画計画 市民オンブード調査報告

基本目標1 男女共同参画に関する啓発・教育の推進

【基本施策1】拠点施設ここいろを中心とした、市民への多様な啓発の推進

【基本施策2】学校等における教育の推進

【基本施策3】市民の主体的な学習の促進

基本目標2 仕事と生活の調和の推進

【基本施策1】性別に関わらない、仕事と子育て・介護との両立支援の促進

【基本施策2】全ての人の地域社会への参加の促進と、地域活動における男女平等の推進

【基本施策3】多様な働き方の推進

基本目標3 女性の活躍の推進

【基本施策1】意思決定過程への女性の参画拡大

【基本施策2】男女間経済格差の解消の促進

【基本施策3】女性のキャリアの形成支援

基本目標4 困難を抱える女性への支援

【基本施策1】感染症大流行その他大規模災害の影響を受けた女性への支援

【基本施策2】心身の不調を抱える女性への支援

【基本施策3】貧困等生活上の困難に直面する女性への支援

【基本施策4】ひとり親家庭への支援

【基本施策5】複合的に困難な状況にある人への対応

基本目標5 暴力など、女性に対するあらゆる人権侵害の防止

【基本施策1】性暴力の防止

【基本施策2】DVの防止

【基本施策3】性別に基づくハラスメントの防止

基本目標6 男女共同参画の視点による防災の推進

【基本施策1】防災・復興に関する男女共同参画の視点の強化

基本目標7 推進体制の整備・強化

【基本施策1】庁内推進体制の強化

【基本施策2】市民、行政、団体等の連携の推進

くわしくは、中面へ!⇒

下記のホームページには、用語解説や資料を含む「報告書」を「概要版」と合わせて掲載しておりますのでご参照ください。

市民オンブード調査報告書(平成23(2011)年度~令和4(2022)年度)

伊丹市ホームページ <http://www.city.itami.lg.jp/> ()



相談できる場所

伊丹市DV相談室

伊丹市配偶者暴力支援センター

専門の相談員が相談に対応しています。

TEL:072-780-4327

面接・電話相談

平日:9時~17時30分

(土・日・祝日年末年始除く)

匿名可・秘密厳守



ここいろ

伊丹市立男女共同参画センター

伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商エプラザ5階

TEL:072-781-5516

・女性のための悩み電話相談

TEL:072-781-5531 (月曜・第1日曜)

・男性のための悩み相談

TEL:072-781-5532

(第1土曜日)

・セクシュアルマイノリティ相談

TEL:072-767-1012

(第1・第3金曜日)



【発行・問い合わせ】

伊丹市 市民自治部 共生推進室 男女共同参画課 TEL:072-784-8146 FAX:072-780-3519

基本目標毎のオンブード評価

オンブード調査では、計画の基本目標別に、担当課へヒアリングや書面で質問を行い、その結果や意見を報告書にまとめました。報告書の内容からピックアップしてお知らせします。

【基本目標1】

男女共同参画の理念が、知識や関心度の様々な市民に広く伝わることを期待

講座やイベントでは、啓発のための資料を配布し、図書の提供やワークショップなども実施されています。ただ、こうした講座などに参加する方は、まだまだ多くはおられません。男女共同参画への意識が高く、知識を身につけられた方々が、周りの方々に講座内容を伝え広めて下さると、推進のスピードが上がると思います。

また、一つの課が講座や講演会を実施する機会に、他の課のイベント案内や啓発リーフレットを配布するなどすれば、効率よく男女共同参画が啓発できるのではないかと期待しています。

性差別や性別役割分業の強制をしないために「表現ガイドライン」の活用を

市が実施している男女共同参画に向けた活動内容は、プレスリリースをし、マスメディアにも広報活動をされているとのことです。マスメディアで取り上げられれば、市民の関心も高まるように思います。そして、広報活動をする際には、ぜひ、以前につくられた「表現ガイドライン」を活用して頂きたいです。

幼児・児童へのジェンダー教育充実のための、保育教諭の研修会や、学生ボランティア

子どもの人権を守り、子どもへの性暴力を防止するための研修を、保育教諭等が受けやすくするため、夜間にリモートで研修をするようにしたそうです。その結果、多数の参加者があったとのことでした。また、保育教諭等を目指す学生たちが、「キッズサポーター」として指導補助ボランティアになっているそうです。

こうした活動は、現場の教諭にとっても、学生のためにも、ジェンダー教育や幼児教育への理解を深めることのできる、とても意義あることだと思います。今後も活動が継続し、現在はまだ登録者のいない男子学生にも、是非参加してほしいと思います。

【基本目標2】

男女が共に、仕事と生活の調和が実現できるような支援を

事業者対象には、女性の力を会社の資源にすることを旨とする講座を開催され、まずは女性にとって働きやすい職場環境を作るよう、意識改革を促されました。女性にとって働きやすい職場環境は、男性にとっても働きやすい環境になるはずで、男女が同時に、仕事と生活の調和に近づいていくような支援をお願いしたいです。

男性が子育てに積極的に関わられるように後押しを

「もうすぐパパママ教室」への参加者は、のべ200組にもものぼり、そのうち9割がパートナー同伴だったとのこと。このような好機を逃さず、出産後の家事・育児を夫婦揃って行うといった、男女共同参画のあり方を、資料なども使って伝え後押ししてほしいと思います。

【基本目標3】今後、女性たちが社会で活躍する上で予行練習になると期待

ここいろ市民ネットワーク会議「ここサークル」で、市民企画講座の実施、講師やファシリテーターの活動をサポートしていることがわかりました。これは企画や講座などでリーダーシップを発揮し、組織作りのノウハウを学ぶ場にもなっているため、今後女性たちが社会で活躍するための予行練習になると感じました。

土日や夜間開催など新たな取り組みに期待

「女性創業塾」について平日に託児付きで開催し、さらにオンラインでも行われたことは、参加者も増え良い取り組みだと思いました。また現在平日開催が主なので、今後土日や夜間開催など今までにない取り組みを期待しています。これまで講座後にフォローアップの開催がありませんでしたが、2023年度にフォローアップの機会を設けた為、引き続き継続的に行うことを期待します。

【基本目標4】

貧困状況の情報収集を行い、長期的な支援を貧困状況について教員0Bである修学支援員3名が学校との連携のもと情報収集を行っていることがわかったため、貧困問題解決に向けて引き続き長期的な支援を願っています。

多種多様な悩みを抱える相談者が気軽に利用できる「ここいろ」へ

「ここいろ」をより男性相談者も利用しやすくするために男性相談用のカードを新規作成されたことは、市民目線に沿った創意工夫をしていると感じました。またセクシュアルマイノリティ相談についてホームページ等で「ここいろ」を知り、市外、県外からの利用者も多いことがわかりました。「ここいろ」を多種多様な相談者がより気軽に利用できるよう今後も期待しています。

1つの課では対応しづらい複合かつ困難な案件に対し、複数の課が連携して課題解決を

複雑・複合化した課題を有するケース（世帯）に対して、様々な分野から包括的な支援が提供できるように支援策について検討し、役割を調整する「多機関共同支援会議」を開催していることがわかりました。令和4年度は8事例を各関係機関との連携で解決されたということで、今後も各課の職員が持つ専門的知識や経験を生かしながら、課題解決や改善へと導いていきたいです。

【基本目標5】

性暴力・性犯罪への対策に向けて予防啓発や相談先の周知等、迅速な対策を

人権啓発センターにある性暴力に関するDVDについて具体的な貸出先を把握されず、また啓発手法や事業展開も関係部署と調整・研究中だとわかりました。子どもや若年層、女性に対する性犯罪・性暴力の被害を防ぐ為に、今できる活動を前向きに早急に進めていきたいです。

関係機関と連携し前向きに加害者の再犯防止などの講座の検討を

加害者の意識改革、再犯防止はDV防止として重要なので、加害者も被害者もつくりたい理念のもと、加害者の再犯防止活動を検討いただき、様々な講座を開催していただきたいです。

【基本目標6】

管理職への昇任意欲向上のために後押しを

防災部署の管理職に女性が少ないのは、全庁的に職種や男女を問わず、管理職への昇任意欲の低下傾向にあるのが一因だとのこと。継続的なマネジメント力向上のための研修を実施中ですが、他にも、家庭において家事や育児の負担が女性に偏っているという理由もあるのではないかと考えます。女性には将来的に管理職になる心づもりをしていただくように職場全体で今後も後押しをしていただきたいです。

避難所運営へ女性の視点も取り入れて

現在、伊丹市避難所運営マニュアルを作成されており、避難時の備えとして乳幼児や妊婦など災害時要支援者に向けた備蓄数も一定数あることがわかり、安心が増しました。

避難所の運営やそのマニュアル作成時に、もっと女性の視点を入れるためにも、防災士、女性の防災リーダーや、現在ゼロの女性相談員を増やせるように今後もご尽力いただき、防災や避難所運営の関心を高めていただきたいです。

伊丹市内で防災士資格取得実施へ向けて

現在、兵庫県広域防災センター（三木市）において、防災士養成講座の研修を受講できますが、伊丹市では実施されていません。できれば、伊丹市内で防災士資格取得が可能となるよう引き続き県に要望を行っていただき、市内の防災士の数もさらに増加するように願っています。

【基本目標7】

全庁の日常業務が、男女共同参画の視点をもったものになるように

日常業務の後に、男女共同参画の数値目標や施策に照らし合わせ、その達成度を省みるのではなく、それらを予め意識しつつ業務をして頂きたいです。そのために、このオンブード報告が役に立てば本望です。

啓発拠点である「ここいろ」(男女共同参画センター)が、市民と市民団体間のネットワークづくりの支援を

「ここサークル」の活動がきっかけで、子育て支援のサークルができたのだそうです。こうした「共助」がさらに増えることを期待します。